

会報
令和3年
6月号
(毎月10日発行)
No.476

発行人 上野俊彦



KOBEシニアクラブ



垂水区老人クラブ連合会

〒655-8570 神戸市垂水区日向1-5-1 垂水区役所まちづくり課内 TEL078-708-5151(内線312)

区老連理事会中止に伴い 臨時役員会開催

新型コロナウイルス第4波流行に対し、4月25日～5月11日の期間、兵庫を含む4都府県に第三回緊急事態宣言が発出された。これに伴い区老連総合部会は中止、更に緊急事態宣言が5月31日まで延長されるにおよび、5月17日予定の区老連理事会、5月25日の本年度区老連定時総会(パソコンホール)も中止となった。これら非常事態に対応し、区老連は5月17日に臨時役員会(構成：会長・5部会長・会計)を開催して、毎月の理事会案件を協議し、定時総会議案を審議したので、その要点を報告する。

5月度理事会案件

協議・報告事項

- 1) 令和3年度区老連定時総会議案書は理事会に代え、5月17日の臨時役員会にて審議し決議された。
- 2) 令和3年度市老連定時総会は5月28日に楠公会館にて、出席者を大幅に縮小して開催される。垂水区老連からは会長と広報部会長の2名が出席する。
- 3) 区老連の6月度は総合部会は中止、6月9日(水)に理事会を開催し、会報配布は同日午前に実施する。
- 4) 6月下旬の区老連施設見学旅行は7月に延期し、日程等は6月度理事会にて決定する。
- 5) 7月中旬予定の区老連正副会長研修会は、9月に延期する。
- 6) 本会報の印刷会社を7月号から変更する。様式は変わらないが、5月号と11月号は12頁構成になる。
- 7) 垂水区老連会報等の5月号は各クラブ会長宅へ郵送した(緊急事態宣言発出中で配布会場が使用不可)。このため5月号配布当番クラブは6月号当番に、6月号配布当番クラブは7月号当番に変更する。
- 8) 単位クラブの会長交代(敬称略)
*塩屋柏台パールクラブ 山口高正⇒菅野正彦 5/2付
- 9) 区老連の役員交代(敬称略)
*副会長・広報部会長 山口高正⇒小林孝(旭が丘悠悠クラブ) *広報部長 小林孝⇒菅野正彦

当面の行事予定

6月

3	木	区	グラウンドゴルフ大会 スポーツガーデン	雨天10日
		区	総合部会	中止
9	水	区	理事会 区役所301会議室	13:30
10~11	近畿	区	ブロック老人リーダー研修会(和歌山)	中止
24	木	市	会長リーダー研修会 神戸文化ホール	中止
下旬		区	施設見学旅行 7月20日頃に延期	

7月

8	木	区	総合部会 区役所301会議室	13:30
9	金	市	新任会長研修会 総合福祉センター	13:30
14	水	区	理事会 区役所301会議室	13:30
中旬		区	正副会長研修会 9月に延期	
下旬		区	施設見学旅行(GG体験、1泊or日帰り)	
26	月	区	輪投げ大会 垂水区文化センター	受9:30
30	金	市	会長研修会 総合福祉センター	

令和3年度 活動方針と収支予算の概要

事業活動方針 詳細は省略し注記事項を列記する。

なお本年度活動計画の遂行に当たっては、コロナ感染予防を基本に柔軟に取り組んでいく。

(1) モデル事業 「コロナ禍、自粛環境での高齢者フレイル予防・健康づくり支援事業」に取組む。
・健康ウォーキング(源氏物語ゆかりの地を巡る)(上期)
・eスポーツ導入調査(高齢者eスポーツ施設体験)(通期)
・「GENKI弁当プロジェクトセミナー」の開催(下期)

(2) クラブ会員助け合い事業 会員の高齢化の進展に対応して、取組みクラブ拡充も視野に推進する。

(3) 会員増強 新規クラブ結成も視野に地道に取組む。

令和3年度予算

収入の部	(万円)	支出の部	(万円)
単位クラブ分担金	34	事業管理費	25
神戸市補助金	45	総務部会費	55
垂水区役所助成金	8	eスポーツ部会費	54
神戸市老連助成金	90	文研部会費	25
各種行事参加費	61	福祉部会費	5
広告収入	18	広報部会費	40
モデル活動事業費	40	モデル活動事業費	41
その他	1	健康指定クラブ助成金	50
収入合計	297	支出合計	295

(山口)

7月号会報配布当番

☆当番クラブ(2クラブで半数交替、同一人物で円滑引継)

※ひのくら緑寿会(※責任クラブ) 道親会
(次回) ※道親会 神陵台三樹会

☆配布日 7月 8日(木) 10時～11時30分
(次回) 8月 12日(木) 10時～11時30分

☆作業手順

1. 準備 当番クラブは事前(9時30分～10時)に印刷コーナーで区老連会報と市老連広報紙の同一クラブのものを2段重ねにし、クラブ番号順に長机上に並べる。
2. 配布・受領他 各クラブは10時～11時30分に受領・押印する。この間、当番クラブは区老連会報を封筒に入れ(計21通)、宛名ラベルを貼り、レターポーチ(会計)に入れる。
3. 後作業 11時30分に配布を締切、未引取の会報をクラブ毎に専用袋に入れ、クラブ名札を付け、受取記録表、残存会報等を印刷コーナーのレターポーチ(会計)に収納する。

春のハイキング

きずなクラブ 中村 繁義

桜が咲き、すっかり春らしくなった絶好の土曜日、垂水きずなクラブの会員40余名は午前11時に平磯海辺の垂水年金会館前に集合し、親子ハイキング・花見ウォーキングを行いました。

近頃はコロナ禍で寄る機会もすっかり少なくなった中で、こうして元気に会える事はうれしい。

集合の後、早速弁当を受け取り、恋人岬の海辺の方へウォーキングに向かう。穏やかな温かい春の海辺に向かい、平磯灯台のある垂水の海を見る。昔から天下の名勝と言われた舞子の浜に続く垂水海岸、昔の白砂青松の海岸は埋め立てられて無くなりましたが、明石海峡の向こうに淡路島が昔と変わらず見え、西側に世界一長い明石海峡大橋が見える。

「淡路島通う千鳥の鳴く声に」の雰囲気は未だ残されている。夜になれば奇麗な夜景も見られる。体育館建設中の高い塀に張られた垂水付近を写した多くの写真を見ながら恋人岬の周辺を散策し、東の平磯公園へ向かう。満開の桜が見られる噴水池の東側の芝生の上で、各自座って弁当を食べる。少しお酒も入り、すっかり花見気分を味わった。絶好の天気だったので、公園には多くの人が。食後に輪投げも楽しみ皆で和気あいあいと本当に楽しい時間を過ごす事が出来ました。



新型コロナウイルス対策と私とラジオ体操

西舞子友の会 会長 前田 敏夫

平成最後の年に垂水区老連に会員33名で入会して3年目を迎えました。『健康・友愛・奉仕』を基本に、会員増強に努め今年から51名になり会員さんの親睦をはかり楽しく豊かに、活動をしてきました。

ラジオ体操(細道公園)を毎朝6時30分から行っています。今はコロナの影響で人数が少なく15～20名で、今年で15年目になります。友の会ではコロナに負けず、グラウンドゴルフはマスクを着用し三密を避けて(月、水、金)の8時30分から、公園掃除とラジオ体操をして15名ほどで11時過ぎまで行っています。



クラブの総会がコロナ禍のせいで開催出来なくて役員会での書面の配布のみで了承していただきました。初めての総会なので、会員の皆さんのご指導ご意見を頂くつもりでしたが、コロナ禍で何もかも中止で終わり残念でしたが、4月になって嬉しい便りが届きました。地域福祉課から輪投げは参加者が15名位なら会館の使用許可が出ました。早速、会場を予約し手袋・消毒液・上履きを揃えて待機してます。リズム体操は、現在活動中止で皆さん再開できる日を心待ちにしてます。一日も早くコロナ騒動が終息し以前の生活に戻れるよう、希望をもち頑張っていきます。

クラブ便り

クラブの状況について

下畠老人クラブ 会長 林 栄司

下畠老人クラブは、昭和45年に発足し、親睦と福祉の増進に努めてきました。現在会員は、男17名女26名の計43名です。当クラブの活動としては、年3回の社会奉仕があります。今から約270年前に垂水海神社から分霊を受けたとされる下畠神社の境内と階段および地区内にある市民公園にて毎年6月、10月の祭の近くの日および正月前の師走に2時間かけて、会員が清掃道具を持参して、清掃活動を実施しています。その他、年間活動としては食事会を5回、茶会を3回実施しています。開催の時期は、敬老のつどい、地蔵盆の催し、忘年会、新年会時にあわせ又は計画



開催しています。食事会、茶会の時には、ビンゴゲーム・輪投げ大会・カラオケ・健康体操・健康の話などをおりませて活動しています。それと年1回の日帰り旅行を計画する様にしています。

以上は例年の活動ですが、令和2年度の活動は、コロナの影響でかなりの活動が出来ませんでした。自粛をせざるを得なくなり、淋しい1年間の活動でした。早くコロナが沈着して通常の事態への回復を願うばかりです。

なお現在のサークルはグラウンドゴルフは週2回輪投げは週1回活動しています。カラオケと写経は今はコロナの関係で活動を休止しています。

松尾芭蕉と垂水

東部老人クラブ 会長 鴨川 則幸

奥の細道で有名な松尾芭蕉が垂水と関係があるというと意外に思われるかもしれません、元禄元年(1688年)、江戸を発つて故郷の伊賀上野に行き、伊勢神宮を参詣し翌年春には吉野の桜を見、奈良の三輪・多武峰を経て高野山に詣でる。更に和歌の浦を通り奈良に出て、須磨・須磨の浦に来ています(翌年旧暦4月頃)。

このことは芭蕉の「笈の小文」に書いてあります。鉄拐山に登りつらい思いをしたこと、源平合戦の悲惨な状況を想したこと、海人の人たちの暮らしづくりを見て俳句したり、須磨寺の「青葉の笛」を詠み鉢伏山から淡路島を眺めてこの地が須磨と明石の境だと言ったり、ずいぶん細かく調査をしています。

「蝸牛(カタツムリ)角ふりわけよ須磨明石」

それもその筈、芭蕉は幕府の隠密だとも言われています。今では定説となっています。実家は伊賀忍者です。道中の諸国情勢を探るのが目的で俳諧行脚をして、明石藩の明石海峡の防御が固いのを見て、引き返していることも、その証とも言われています。右の写真は鉢伏山の登山口にある芭蕉の句碑。



それ以外にも明石城下で「蛸壺やはかなき夢を夏の山」を詠んでいます。(垂水郷土史参照)

(塩屋柏台パール句会) 勝

鉢下に根切り虫など蟲きし

亀鳴くや槽に砥石の刃物店

大木の影や明るき桐の花

海沿いの大き風車や子供の日

野良仕事捲つてをり若葉風

陽炎の中より仔犬あらはるる

鯵釣れてかもめ近づく仕立船

金寿かと悔いの八千度亀の鳴く

菜園にため息生むや根切虫

庭手入れ野菜の下に根切虫

花桐や香りのこせし妣の簞笥

ぱっかりと空に穴あり夏蜜柑

母の日に精一杯のありがとう

こやつかと憎みをりけり根切虫

黒森 真理	水島 章雄	水島 章雄
菅野 正彦	中山沙江子	中山沙江子
梶尾 絹代	小中 命子	小中 命子
原田 菊枝	島谷 祐次	島谷 祐次
大上 昭敏	加瀬 徳子	加瀬 徳子
田畠美恵子	神之村 瞳	神之村 瞳
原田 菊枝	難波 瞳隆	難波 瞳隆
大上 昭敏	瀧 千尋	瀧 千尋
木村 敏博	立村 霜衣	立村 霜衣

縁側で何もせず居る螢の夜
道迷う螢の案内帰りきて
狭の宿よりそう二人は恋螢

(桃山台クラブ文芸部)

花見とれ帰路迷いたる吉野山

仰ぎ見る花の魅力や黄砂の中

(下畠老人クラブ)

ひとり居の庭にあでやかボタン咲く

田植時五感單純土句ふ

夕飯に鰯焼いて足る独り住み

吹く風に色を見るよな五月かな

蛸壺の山トーチカのごと驟雨

コロナ禍のオリンピック揺れ立夏

はつ夏の里はいかがと風に聞く

(垂水福寿会)

自治会費集める役目若葉風

源流はふるさとなりし鯉幟

遠望の海銀板に夏兆す

つつじ咲き幸そうな街になる

春風や東口にて待合せ

(旭が丘川柳会)

家事を終え手足伸ばしてティタイム

この時世足が遠のく百貨店

もう飽きたマスク作りも巢ごもりも

友と会うチャンスも失せるコロナの世桂木

かけがえのない日はいつも足早に

池江璃花子名前聞くだけ感動す

軸足のぶれぬ男と午後のお茶

つんのめり小股で歩く歳となり

検診日背を伸ばしても減るばかり

雨の日は雨の仕事がある暮らし

つかれが足りぬ男と午後のお茶

つんのめり小股で歩く歳となり

検診日背を伸ばしても減るばかり

雨の日は雨の仕事がある暮らし

投稿先の変更

令和3年4月から本頁下の欄外に記載のように
投稿先が変更になりました。ご注意ください。

足伸ばし董発見なつかしい
かけがえのない日はいつも足早に

小林 孝
小林 佳子
富岡 節子
三木 浩

池江璃花子名前聞くだけ感動す
軸足のぶれぬ男と午後のお茶

本谷丈日子
森田美佐子
和田恭子

久下順司
樋山 隆夫
木村敏博

熊谷勝紀
小林孝
小林佳子
富岡節子
三木浩

池江璃花子名前聞くだけ感動す
軸足のぶれぬ男と午後のお茶

本谷丈日子
森田美佐子
和田恭子

久下順司
樋山 隆夫
木村敏博

多聞史誌の編さんにもひと役

多聞寿会 副会長 柏木 武雄

私たちの多聞地区（旧多聞町）の歴史は古く平安時代に遡り、今から約1,200年前に創建された古刹「多聞寺」の門前町として栄えてきた証が地名にも残っています。

明治の頃は「多聞寺」と呼ばれ、住宅60戸余り、農地面積は約70haの農業を主とした集落でしたが、時代の移り変わりと共に徐々に変貌をとげ、特に昭和30年代から始まった宅地開発の波は、周辺の光景も人々の生活も大きく変えていきました。

それでも、この地域に根付いた特有の文化、人情といったものは今も変わらず、伝統行事も世代交代しながらもしっかりと受け継がれています。そんな中、「移り行く多聞の歴史を後世に残したい」という有志の下で多聞史誌『多聞のあゆみ』が刊行されたのが4年前。編集メンバーの中には勿論「寿会」の面々も入っており、年長者ならではの知恵や知識で少しでも役立ったかと自負しております。

重要文化財に指定されている歴史的遺産や伝統行事に加えて昔懐かしい人々の暮らしぶりが、貴重な写真と共にたっぷりと盛り込まれています。ちょっと面白いのが「方言」のページです。決して奇麗な言葉ではありませんがなかなか味わいのあるものです。父をオトッタン、母をオカン、兄をニヤン、姉をネエ、祖父をオンジャン、祖母をオバン、自分を男はオラ、女はウチ、相手をオマエと呼んでいました。

この冊子は神戸市の図書館にも寄贈しています。



楽しい旅をお届けする・・・

名鉄観光サービス㈱へ
お気軽にお問い合わせ下さい



名鉄観光 サービス
株式会社
神戸支店

観光庁長官登録旅行業 55号

〒650-0038 神戸市中央区西町35

(三井神戸ビル3階)

TEL 078-321-5005

垂水区担当 奥谷 昭人

新しい生活スタイル

塩屋柏台パールクラブ 幹事 小川 裕二

三度目の緊急事態宣言が発令された。「またか・・・。」とは思ったが、慣れてきたせいか緊張感はありません。

それでも街では、飲食店は早仕舞いをし、デパートやスーパーなどの商業施設も売り場を縮小し、繁華街の人通りも疎らになっている。

当たり前の日常があちこちで崩壊し、寂しい光景ではあるが、一方で私にとっては、収穫もあったようだ。心の変化である。今までのような繁華街での外食や買い物の習慣、或いは一日一回は喫茶店でコーヒーを、というような悪癖が私の中で徐々にではあるが消えてきたのだ。

仕事で外出した折なんかでも、これまでとは違いお昼には公園や広場のベンチなどでコンビニ弁当をゆっくりと楽しむことができるようになった。

当然、青い空、緑の木々、近くにある海や山に目が向くようになる。いつの間にか自然を楽しみながら質素に生活していくという至極ありふれた感覚を一連のコロナ騒動の中で、少しずつはあるが取り戻すことができるようになった気がするのだ。

そんなことを考えながら今日は、人込みを避け、交通機関に頼らず、柏台の自宅から垂水漁港までの往復8キロほどの道のりを歩いてみた。鶯のさえずりを聞き、海を見ながらの一人ウォーキングは爽快であった。



旅のご相談は

WTS ワールドツアーシステム



お気軽にご相談ください。

大阪府知事登録旅行業2-2047号

ワールドツアーシステム株式会社

神戸営業所

〒650-0015

神戸市中央区多聞通2-4-4

ブックローンビル2階

電話番号 078-382-0088

ファックス 078-382-0089

<http://www.e-wts.co.jp>